【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【公表番号】特表2012-511264(P2012-511264A)
【公表日】平成24年5月17日(2012.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2012-019
【出願番号】特願2011-540800(P2011-540800)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　21/683　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　21/68　　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月7日(2012.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基板にテープを貼り付ける方法において、
基板の表面の近傍に、前記基板の前記表面に実質的に平行に、テープを配置する工程、
前記表面より小さな領域で前記表面とは逆の側の前記テープの面に、前記テープを前記領域とは逆の側で前記基板に接着させるために、圧力をかける工程、及び
前記圧力をかけたままで、径方向に外側に向けて、前記領域を前記基板に対して移動させる工程、
を含み、
前記テープが通常の大気条件下で前記基板に貼り付けられることを特徴とする方法。
【請求項２】
テープ接着領域のいずれかに囲い込まれたテープ未接着領域がないことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記テープを前記表面の全面に接着させることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記領域の移動が外向螺旋に沿うことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記領域の移動が前記基板の中心近傍から開始されることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記圧力をかける工程が、前記表面とは逆の側の前記テープ面に流体を当てる工程を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記流体が空気であることを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記圧力をかける工程が、前記テープにボールベアリングを当てる工程を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記圧力が約５．０ｐｓｉ(３．４×１０^{4}Ｐａ)と約４０ｐｓｉ(２．８×１０^{5}Ｐａ)の

間であることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項１０】
前記領域を移動させる工程が、前記基板及び前記テープを回転させる工程を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項１１】
前記回転の速度が約２０ｒｐｍと約９０ｒｐｍの間にあることを特徴とする請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
前記回転の速度が調節可能であることを特徴とする請求項１０に記載の方法。
【請求項１３】
前記領域を移動させる工程が、前記領域を前記基板に対して平行移動させる工程を含むことを特徴とする請求項１０に記載の方法。
【請求項１４】
前記平行移動が前記基板の回転軸に直交する方向に沿うことを特徴とする請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
前記領域の面積が前記基板の面積の約０．００４％と約１０％の間にあることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項１６】
前記テープの配置位置が前記基板から約０．５ｍｍと約３．０ｍｍの間にあることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項１７】
基板にテープを貼り付けるための装置において、
基板を保持し、前記基板の表面近傍に前記基板に対して静止させてテープを保持するように構成された支持体、
ｘ方向及びｙ方向のいずれにおいても前記表面より小さい、前記テープの領域に圧力をかけるように構成された圧力源であって、前記ｘ方向及び前記ｙ方向は前記基板に平行であり、相互に直交するものである圧力源、及び
前記圧力源及び前記支持体の内の１つないしさらに多くに結合され、前記領域を前記基板に対して移動させるように構成されたモーター、
を備え、
前記テープを前記基板に通常の大気条件下で貼り付けるように構成されていることを特徴とする装置。
【請求項１８】
前記支持体が、回転軸を中心にして前記基板を回転させるように構成されることを特徴とする請求項１７に記載の装置。
【請求項１９】
前記圧力源が、前記回転軸に直交する方向に実質的に沿って平行移動するように構成されることを特徴とする請求項１８に記載の装置。
【請求項２０】
前記圧力源が、前記表面とは逆の側の前記テープの面に、流体の流れを当てるように構成されたノズルを有することを特徴とする請求項１７に記載の装置。
【請求項２１】
前記ノズルが、前記表面とは逆の側の前記テープの前記面から約０．５ｍｍと約３．０ｍｍの間に配置されることを特徴とする請求項２０に記載の装置。
【請求項２２】
前記流体流を濾過するように構成されたフィルタ、
をさらに備えることを特徴とする請求項２０に記載の装置、
【請求項２３】
前記テープのシートが前記基板から約０．５ｍｍと約３．０ｍｍの間に配置されることを

特徴とする請求項１７に記載の装置。
【請求項２４】
基板にテープを貼り付けるためのシステムにおいて、
基板を支持するように構成された基板支持体、
前記基板の表面の近傍に、前記基板の前記表面に実質的に平行に、テープを保持するように構成されたテープ支持体、
前記基板より小さい領域で、前記基板とは逆の側の前記テープの面に圧力をかけるための手段、及び
前記領域を移動させるための手段、
を備え、
前記テープを前記基板に通常の大気条件下で貼り付けるように構成されていることを特徴とするシステム。